学校番号	319

令和３年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の美術１　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

身近なものを改めて見て描くことで、物をしっかり観察する力と姿勢を身につける。
自分なりの構成、配色着色を行いデザインとは何かを考える。様々な表現により表現の可能性を広げる。一枚の作品制作を様々な表現技法を使って表現し、構成力、計画力、表現力を身につける。異なる素材に触れ特性を理解して制作する、機能性も考えたデザインを考え学ばせる。

２　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい，多様な表現方法や美術文化に関心をもち，主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練ついる。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ，意図に応じて表現方法などを工夫している。	**美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。**
評価方法	出席状況 授業態度 作品への取り組み ワークシート	授業態度 課題作品 観察等 ワークシート	授業態度 作品への取り組み 課題作品 観察等	授業態度 レポート 観察等 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	オリエンテーション 色彩構成	美術の授業についての確認。 アクリルガッシュによる色彩構成。	○ ○	○ ○	 ○	○ ○	a: 作品制作の姿勢ができている。 b: 対象をよく観察し、意図した表現ができる c: 用具の特性を活かし、表現方法を工夫している。 d: 多くの混色作業を通して色を自在に操る技能を養う。	授業態度 課題作品
1学期	2点透視図法によるだまし絵作成	2点透視図法	○ ○	 ○	○ ○	○ ○	a:目的、機能、美しさなどを考えて表現することに関心を持ち、完成を見通した計画をたてている。 b:画面構成と色彩構成をよく考え、創造的な表現ができる。 c:用具の特性をよく理解している。 アクリルガッシュの特性を理解し効果的に活用している。 d:テーマをよく理解し、効果的な配置ができる。	授業態度 アイデアスケッチ 製作途中の作品 課題作品 ワークシート
2学期	美術鑑賞レポート	美術展へ行き本物の作品を鑑賞し、感想をレポートにまとめる。	○			○	a:美術作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫に関心を持ち、理解している。 d:美術作品の表現の特質や様式、主題、表現方法について理解している。	鑑賞レポート

	ペーパーレリーフ	ペーパーレリーフ	○	○	○	○	a: テーマを理解し、完成を見通した計画をたてている。 b: 連続する模様の美しさを理解し、適切に配置する。 c:用具の特性を理解し、表現方法を工夫して効果的に活用できている。 d:他の生徒の作品のよさや美しさ、作者の意図や工夫を感じ取り理解を深めている。	授業態度 アイデアスケッチ 製作途中の作品 課題作品 ワークシート
3学期	自画像	色の3原色で自画像を描く。	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a: 対象をよく観察し、表現することに関心を持って取り組んでいる b:形態を工夫して表現の構想を練っている。 c:限られた色数（３色）で効果的な表現ができている。 d: よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り作品についての理解を深めている。	授業態度 アイデアスケッチ 課題作品

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:芸術的な感受や表現の工夫
　　c:創造的な表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。